

## 成果の説明書

(氏名)王 亦菲	(学部) 経済学部
<p>1 重要事項</p> <p><b>【研究関連】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 経済の持続可能な発展が求められる中、その重要な取り組みの一つとして物流の共同化が注目されている。特に、輸送能力不足や人手不足といった「物流の 2024 年問題」に直面している日本においては、共同物流の重要性が一層高まっている。共同物流の形成メカニズムを解明するため、本年度は先行研究の文献レビューを実施し、日本物流学会全国大会において共同研究の中間成果を発表した。また、住設・建材業界における共同物流に関するフィールドワークも実施した。</li><li>・ 「共同物流における規定要因の分析：促進要因と阻害要因に関する体系的レビュー」(王亦菲・李瑞雪・金艶華 第 42 回日本物流学会全国大会 2025 年 9 月 13 日)</li><li>・ EC ビジネスの急速な発展を背景に、従来のネット通販に加え、越境 EC やライブコマースなどの新たなビジネスモデルが次々と登場し、流通システムに大きな影響を与えている。このような流通システムの発展のダイナミズムを解明するため、本年度は中国・山東省臨沂市において、越境 EC およびライブコマースに関する現地調査を実施した。</li></ul> <p><b>【教育関連】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 授業においては、理論知識の応用事例を多く取り上げ、学生が理論と実社会との関連性を理解できるよう工夫している。</li><li>・ 学生が経済動向や企業の経営活動を理解しやすくするため、動画等の視覚資料を効果的に活用した。</li><li>・ 学生のグローバルな視野を育成するため、日本や欧米などの先進国の事例に加え、中国、インド、東南アジアなどの新興国の最新事例も積極的に取り上げている。</li><li>・ 新開講ゼミとして第 1 期生を迎え、本学におけるゼミ活動を開始した。輪読、ケーススタディ、グループディスカッション等を実施し、学生の主体的な学習を促すとともに、情報分析力およびプレゼンテーション能力の向上を図った。</li></ul>	
<p>2 その他の事項</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 国際ビジネス研究学会全国大会に参加した。(2025 年 10 月 18~19 日)</li></ul>	
<p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <p><b>【研究関連】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 共同物流に関する研究を継続し、その成果を学会で発表するとともに、学術論文の投稿を行う。</li><li>・ 越境 EC やライブコマースに関するこれまでの調査結果に踏まえ、追加調査を実施し、研究成果を学会発表、論文投稿を行う</li><li>・ 博士論文の内容を精査・加筆修正のうえ、書籍として出版する。</li></ul> <p><b>【教育関連】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 今年度の授業アンケートの結果を踏まえて、次年度授業の内容と授業の形態の改善を図る</li></ul>	

- ・ 今年度のゼミ活動について、ゼミ生との双方向的にディスカッションを通じて、学生が納得できる形で授業とゼミ活動を進める。
- ・ 学生の多角的な思考力の育成を目的として、合同ゼミを実施し、他大学の学生と交流機会を提供する。
- ・ 企業活動の実態を理解するため、物流展示会への参加や企業見学を実施する予定である